

机上演習モデル事業(平成31年度事業(千葉県))

1. 演習の背景・目的

<背景>

- 千葉県災害廃棄物処理計画(平成30年3月)において想定している3地震のうち、特に発生確率が高く、災害廃棄物発生量が多い千葉県北西部直下地震に係る体制の強化が急務な状況である。
- 県及び各市町村が策定した計画並びに県と市町村との連携体制について、発災初動期における混乱の中で適切かつ迅速に災害廃棄物処理に対応できるような実効性の高いものとなっているか検証が必要である。

<目的>

- 災害廃棄物処理計画の内容や県、支援自治体及び被災自治体の協力・連携の状況などについて、実効性を検証する。

2. 演習の概要

<対象災害>

- 千葉県北西部直下地震

<対象自治体>

- 東葛・葛南ゾーン及び千葉中央ゾーンの自治体及び組合

<対象フェーズ>

- 発災翌日～発災1週間程度

<実施日> 両日程ともWeb開催

1回目:令和2年(2020年)2月9日(火)10:00～16:00 ※午前中は事前勉強会(講演)、午後は演習

2回目:令和2年(2020年)2月16日(火)13:30～16:30

ゾーン	自治体名
東葛・葛南ゾーン	野田市、流山市、松戸市、柏市、我孫子市、鎌ヶ谷市、浦安市、市川市、船橋市、習志野市、八千代市、柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合
千葉中央ゾーン	千葉市

3. 演習の内容

Web上でファシリテーターから参加者に対して問いかけを行い、参加者が回答する形式(問答形式)

- ① 自区域内及び当該ゾーン内の被害の様相の把握・共有
- ② 対応すべき主な業務の確認
 - －被害状況の確認・報告
 - －住民への周知・広報
 - －生活ごみ・避難所ごみ・し尿の処理
 - －片付けごみへの対応、仮置場の設置・管理
- ③ 支援要請に当たり検討しておくべき事項の整理
- ④ 県内市町村間での連携体制構築に当たっての課題出し

※第1回は上記①②の一部、第2回は②の一部と③④を対象に実施

机上演習モデル事業(平成31年度事業(千葉県))

5. 演習の詳細・進め方

